第 46 回補体シンポジウム参加案内

講演会場　　九州大学西新プラザ 2F・大会議室

受付　　第 1 日　8 月 21 日（金）12 時より
九州大学西新プラザ 2F・交流ラウンジ前にて
参加費　　一般　5,000 円
　　学生　2,000 円
懇親会費　　3,000 円
＊いずれも会場受付にてお支払い下さい。

発表方法　　全て口頭発表、PC プレゼンテーションで行います。一般演題は討論を含めて 15 分間を予定しています。
PC は集会事務局で用意しますので、PowerPoint で作成したプレゼンテーションファイル（ファイル名は演題番号＋氏名）を CD-R または USB メモリーにてお持ち下さい。（CD-RW および DVD によるデータの持ち込みはご遠慮下さい。）
・事務局で用意する PC と互換ソフトウェアは下記の通りです。
　PC (WinXP)：PowerPoint 2007/2003/97
　Mac (OS10.5)：PowerPoint 2008/2004/98
動画を含むなどファイルの互換性に問題が予想される場合は、例外的に演者自身のパソコンを接続することも可能ですが、必ず事前に事務局までご相談下さい。ファイルの受付は発表があるセッションが始まる前までにお済ませ下さい。講演会場である大会議室入口横にプレゼンテーションファイル受付カウンターがあります。

運営委員会　　第 2 日　8 月 22 日（土）　8:00～9:00（Cafe レストラン ガスト西新店）

総会および優秀賞表彰式　　第 2 日　8 月 22 日（土）　13:15～13:45（西新プラザ 2F 大会議室）

懇親会　　第 1 日　8 月 21 日（金）　19:30～21:00「カフェ・ボーベルジェ」
（博多リバレイン・イニミニマニモ 5F：地下鉄「中洲川端駅」にほぼ直結）
http://www.em3.jp/floorguide/5f/beauverger/index.html

優秀賞　　一般演題の中から最優秀発表を、シンポジウム参加の補体研究会運営委員によって構成される選考委員会によって選考し、第 46 回補体シンポジウム優秀賞として表彰いたします。優秀賞の発表・表彰式は、8 月 22 日（土）13:15～13:45 に開催される補体研究会総会において執り行いますので、是非総会にご出席下さい。

年会費　　会員で年会費を未納の方、および新たに入会される方は、シンポジウム会場受付に、補体研究会事務局受付を併設いたしますので、そちらでご納入下さい。

年会費　一般　5,000 円、学生　3,000 円（学生証などの身分証明をご用意下さい。）

【補体研究会事務局】
〒537-8511　大阪市東成区中道 1-3-3
地方独立行政法人大阪府立病院機構
大阪府立成人病センター研究所分子遺伝学部門内
TEL: 06-6972-1181 (ext.4101)　FAX: 06-6973-5691
E-mail: hotai-kenkyukai@umin.ac.jp
ホームページ：http://square.umin.ac.jp/compl/

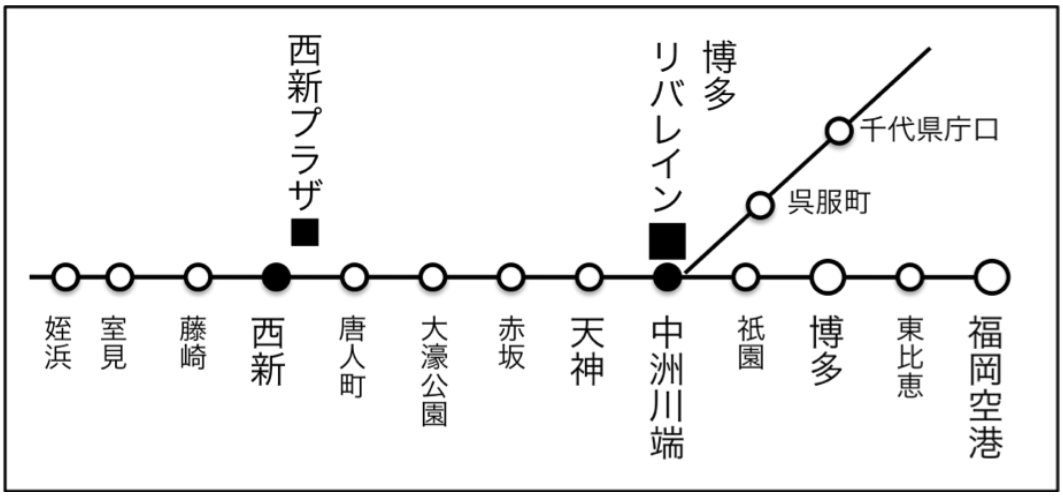
九州大学西新プラザへのアクセス

福岡市営地下鉄空港線「西新駅」（7 番出口）から大通り沿いに、西新パレス前から東に約 250 m 歩き、新今川橋を渡る手前のファミレス「ガスト」から左折して、樋井川（ひいかわ）沿いを 250 m ほど進むと西新プラザがあります。（徒歩約 10 分）

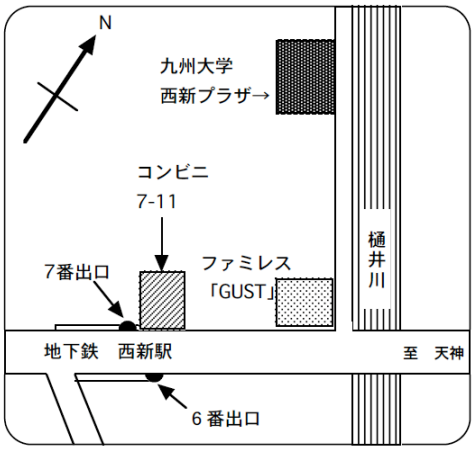
【福岡空港より】市営地下鉄「福岡空港駅」から（何処行きでも可）西新まで直行（約 20 分、290 円）

【JR 博多駅より】市営地下鉄「博多駅」（姪浜・筑前前原・西唐津方面）から西新まで直行（約 13 分、250 円）

【西鉄福岡駅・福岡天神バスセンターより】市営地下鉄「天神」駅（姪浜・筑前前原・西唐津方面）から西新まで直行（約 7 分、250 円）

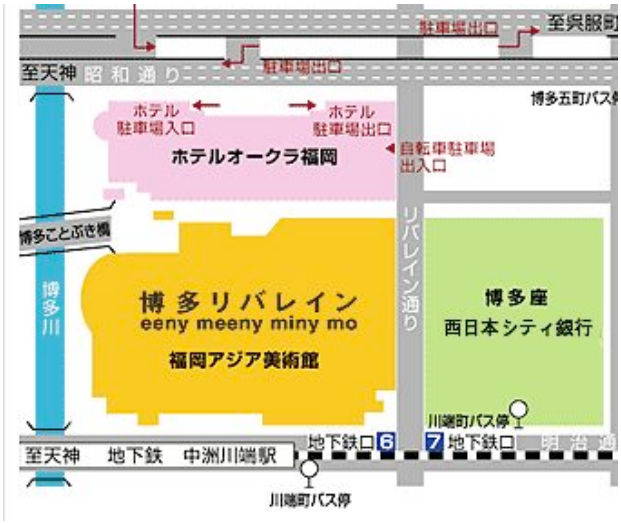


地下鉄西新駅から西新プラザへ



地下鉄西新駅7番出口を出て樋井川方面へ。新今川橋の手前、ファミレス「Gust」の角を左折し、樋井川沿いに下る。（約10分）

懇親会場「博多リバレイン」周辺図



日　程　表

８月２１日（金）　１２：００　開場

12:55～13:00	開会の辞　中尾実樹
13:00～14:30	セッションＡ：第二経路、制御因子、アナフィラトキシン 座長　岡田秀親・井上徳光
14:30～14:45	休　憩
14:45～16:00	セッションＢ：レクチン、自然免疫 座長　若宮伸隆・岡田則子
16:00～17:00	セッションＣ：進化・系統発生 座長　山本哲郎・遠藤雄一
17:00～17:15	休　憩
17:15～18:15	特別講演１：Complement: coming full circle 演者　Claudia Kemper　座長　瀬谷　司
19:30～21:00	懇親会　「カフェ　ボーベルジェ」 博多リバレイン　eeny meeny miny mo　5F

８月２２日（土）　９：００　開場

9:30～10:30	セッションＤ：臨床補体学 座長　堀内孝彦・西浦弘志
10:30～11:15	セッションＥ：HAE（遺伝性血管浮腫） 座長　大井洋之
11:15～11:30	休　憩
11:30～12:30	特別講演２：ショウジョウバエ自然免疫における病原細菌の認識と排除 演者　倉田祥一朗　座長　川畑俊一郎
12:30～13:15	ランチョンセミナー：C1-インヒビター製剤の可能性* 演者　板橋　妙
13:15～13:45	総会および優秀賞表彰式
13:45～14:00	休　憩
14:00～16:30	補体系の進化・多様性シンポジウム 座長　野中　勝・中尾実樹
16:30	閉会の辞　中尾実樹

* ランチョンセミナーの講演要旨・資料は当日配布の予定です。

第 46 回補体シンポジウム・学術プログラム

第１日　８月２１日（金）

セッションＡ：第二経路、制御因子、アナフィラトキシン　13:00～14:30

座長　岡田秀親・井上徳光

A-1　補体 D 因子前駆体を認識する抗体の作製とそれを用いた解析
高橋　実、岩城大輔、遠藤雄一、藤田禎三
福島県立医大・免疫

A-2　補体第２経路を阻害する CR2-fH は、MRL/lpr マウスの自己免疫を調節し、腎炎を改善する
関根英治[1,2],Ting Ting Hsieh Kinser[2], Philip Ruiz[3], Gary Gilkeson[2], Stephen Tomlinson[2]
[1)]福島県立医科大学免疫学講座, [2)]サウスカロライナ医大, [3)]マイアミ大

A-3　腫瘍細胞上の補体制御因子による T 細胞応答の制御
今井優樹[1,2],Varela JC[2], Atkinson C[2],太田里永子[1,2],岡田則子[1], Rapisardo M[2], Tomlinson S[2]
名市大院・医[1)]　サウスカロライナ医科大[2)]

A-4　Zymosan による増殖性腹膜炎ラットモデルの作成と補体治療の可能性
水野正司[1,2]、伊藤恭彦[1,2]、Natalie Hepburn[3]、湯澤由紀夫[2]、Claire L. Harris[3]、B. Paul Morgan[3)]、松尾清一[2]
名古屋大学医・腎不全治療システム学[1)]、同　腎臓内科[2)]、
カーディフ大医・医学生化学＆免疫学[3)]

A-5　補体 C5a レセプター下流 Find-Me シグナル伝達経路
西浦　弘志、山本　哲郎
熊本大学大学院医学薬学研究部分子病理分野

A-6　血漿の S19 リボソームタンパク質様分子の二量体化と単球 C5a レセプターの凝血塊吸収における役割
太田宜彦、千場梅子、諶　俊、西浦弘志、山本哲郎
熊本大学大学院医学薬学研究部分子病理学分野

セッション B：レクチン、自然免疫　14:45〜16:00

座長　若宮伸隆・岡田則子

B-1　ドメイン欠損 CL-P1 のリガンド結合解析

森 健一郎[1]、大谷 克城[1]、張 成宰[1]、金 然旭[2]、本村 亘[1]、孫 啓輝[1]、
吉田 逸朗[1]、鈴木 定彦[3]、若宮 伸隆[1]
[1]旭川医科大学・医・微生物学、[2]鮮文大学・医生命科学、
[3]北海道大学・人獣共通感染症リサーチセンター

B-2　乳酸は Th1/Th17 バランスを Th17 細胞側に傾ける

藪政彦[1]、志馬寛明[1,2]、赤澤隆[1]、井上徳光[1]
[1]大阪府立成人病センター研究所・分子遺伝学、[2]北大院・医・感染症制御学

B-3　樹状細胞 TLR3 の誘導する NK 細胞活性化の分子機構

海老原敬、松本美佐子、瀬谷　司
北海道大学大学院医学研究科免疫学分野

B-4　抗体および補体によるネクローシス細胞に対する免疫応答の調節

若狭健太郎、志馬寛明、松本美佐子、瀬谷　司
北海道大学大学院医学研究科免疫学分野

B-5　カブトガニ体液凝固因子 Factor G の β-1,3-D-グルカン認識モジュールと
土壌細菌 Cellvibrio mixtus の糖鎖認識モジュールとの構造類似性

植田　祐生[1]、大和田　修平[1]、阿部　義人[2]、柴田　俊生[1]、飯島　学[1]、
吉光　由希子[1]、中田　宗宏[3]、植田　正[2]、小柴　琢己[1,4]、川畑　俊一郎[1,4]
[1]九大院・システム生命、[2]九大院・薬、[3]東海大・応用生化学、[4]九大院・理

セッション C：進化・系統発生　16:00〜17:00

座長　山本哲郎・遠藤雄一

C-1　チオエステル含有タンパク質の進化と起源
藤戸尚子、杉本早苗、野中勝
東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻

C-2　魚類 C3 アイソタイプの生体防御における機能分化
一木智子、鵜木 (加藤) 陽子、杣本智軌、中尾実樹
九州大学大学院農学研究院

C-3　コイ初期発生における C3 アイソタイプの発現パターン
Vo Kha Tam、大蔵千恵、杣本智軌、中尾実樹
九州大学大学院農学研究院

C-4　コイ C1 複合体の亜成分組成
市居　敬[1]、辻倉正和[1]、杣本智軌[1]、鵜木陽子[1]、加藤愼一[2]、
吉国通庸[2]、中尾実樹[1]
九大院農学研究院　[1]生物機能科学部門・[2]動物資源科学部門

特別講演 1　座長　瀬谷　司　17:15〜18:15

Complement: coming full circle
Claudia Kemper
MRC Centre for Transplantation, King's College London

第２日　８月 22 日（土）

セッション D：臨床補体学　　9:30〜10:30

座長　堀内孝彦・西浦弘志

D-1　本邦 PNH 症例における補体阻害剤（Eculizumab）の安全性と有効性：AEGIS 第２相臨床試験

西村純一[1]、金倉譲[1]、大屋敷一馬[2]、七島勉[3]、岡本真一郎[4]、安藤潔[5]、二宮治彦[6]、川口辰哉[7]、中尾眞二[8]、中熊秀喜[9]、木下タロウ[10]、Camille Bedrosian[11]、Marye Ellen Valentine[11]、小澤敬也[12]、小峰光博[13]

[1]大阪大学血液・腫瘍内科、[2]東京医科大学第一内科、[3]福島医科大学第一内科、[4]慶應大学内科血液、[5]東海大学血液内科、[6]筑波大学血液病態制御医学、[7]熊本大学感染免疫診療部、[8]金沢大学細胞移植学、[9]和歌山医科大学輸血・血液疾患治療部、[10]大阪大学微生物病研究所、[11]Alexion Pharm、[12]自治医科大学内科学血液学部門、[13]昭和大学

D-2　C5a を標的とした補体阻害ペプチド AcPepA 導入による移植後早期膵島障害の抑制

戸子台和哲[1]、後藤昌史[1,2]、稲垣明子[2]、中西渉[1]、岡田則子[3]、岡田秀親[3,4]、里見進[1]

[1]東北大・先進外科、[2]東北大・国際高等研究教育機構、[3]名市大医・免疫学、[4]医療法人福祉村病院長寿医学研究所

D-3　アナフィラトキシン阻害ペプチドについての臨床研究と臨床治験

岡田秀親

医療法人福祉村病院長寿医学研究所

D-4　神戸常盤大学で測定依頼を受けた各種補体異常について

畑中道代[1]、北野悦子[1]、北村　肇[2]

[1]神戸常盤大・保健科学部医療検査、[2]関西福祉科学大・福祉栄養学部福祉栄養学科

セッションＥ：遺伝性血管性浮腫（ＨＡＥ）　10:30～11:15

座長　大井洋之

E-1　遺伝性血管性浮腫（hereditary angioedema: HAE）の疾患認知度

大澤　勲、大井洋之、富野康日己

順天堂大学医学部　腎臓内科

E-2　SLE・シェーグレン様症状を呈した遺伝性血管浮腫（HAE）の一例

有信　洋二郎[1]、三苫　弘喜[1]、井上　靖[1]、新納　宏昭[1]、塚本　浩[1]、吉澤　滋[2]、堀内　孝彦[1]、赤司　浩一[1]

[1]九州大学病院　免疫・膠原病・感染症内科、

[2]国立病院機構　福岡病院　リウマチ科

E-3　遺伝性血管性浮腫の問題点と今後の課題

香坂隆夫、大橋裕子、二瓶健次、阿部正義

東京西徳洲会病院　小児難病センター

特別講演２　座長　川畑俊一郎　11:30～12:30

ショウジョウバエ自然免疫における病原細菌の認識と排除

倉田祥一朗

東北大学大学院薬学研究科

ランチョンセミナー　12:30～13:15

C1-インヒビター製剤の可能性

板橋　妙

CSL ベーリング（株）マーケティング・市場開発本部

補体系の進化と多様性シンポジウム　14:00〜16:30

座長　野中　勝・中尾実樹

S-1　補体系因子固有のドメイン構造の起源と進化：刺胞動物から脊椎動物まで

野中　勝
東京大学大学院理学系研究科

S-2　リポ多糖で誘導されるカブトガニの自然免疫ネットワークと補体活性化

川畑俊一郎
九州大学大学院・理学研究院・生物科学部門

S-3　硬骨魚類補体成分の高度な多様化と機能分化

中尾実樹
九州大学大学院・農学研究院・生物機能科学部門

S-4　補体レクチン経路の分子基盤と系統発生

遠藤雄一[1]、岩城大輔[1]、高橋実[1]、松下操[2]、藤田禎三[1]
[1]福島県立医大・医・免疫、[2]東海大・工・生命化学

S-5　脊椎動物の補体制御遺伝子座が形成された過程を追う

押海裕之　松本美佐子　瀬谷司
北海道大学大学院医学研究科

補体研究会（補体シンポジウム）会則

I　総則

（1）本会は補体研究会（The Japanese Association for Complement Research）という。

（2）本会は補体研究ならびにこれに関連する分野の進歩発展を図ることを目的とする。

（3）本会は前条の目的を達成するため、次に定める事業を行う。

1）年１回以上にわたる総会ならびに学術集会（補体シンポジウム）の開催

2）内外の関連学術団体との連絡及び協力

3）その他の必要な事業

II　会員

（4）本会は、補体研究ならびにこれに関連する分野の学問の研究を志す人々、及びそれに賛同する賛助会員を以て組織される。

（5）本会に会員として入会を希望する者は、所定の申込書に必要事項を記入し、会費を添えて本会事務局に提出するものとする。

（6）本会の会費については細則で定める。

（7）会員は学術集会において、その実績を発表できると共に、その抄録集の配布を受ける。

（8）会員で故なくして２年間会費を滞納したものは退会とみなす。

（9）本会の名誉を著しく毀損した会員は、運営委員会の議を経て除名することが出来る。

（10）本会に特に功労のあった方で、細則に定める規定により推薦された方を名誉会員とする。

III　役員

（11）本会に次の役員をおく。

会長	１名
運営委員	若干名
監事	２名
補体シンポジウム当期および次期集会長	２名

（12）会長は、本会を代表し、運営委員会を召集する。会長の選出は運営委員会が行い、総会での承認を得て決定する。任期は４年とし、２期を限度とする。ただし再任後の任期は２年とする。

（13）会長は必要に応じ、運営委員会の承認を得たうえで、自身の任期の範囲内の任意の任期を有する会長補佐を任命することができる。

（14）運営委員は会員から選挙により選出し、任期は４年とし連続の再任は認めない。細則で定めるところの選挙規定に従って２年毎に選挙を行い、半数ずつ交代するものとする。

（15）監事は、運営委員経験者の中から運営委員会が選出し、総会での承認を得て決定する。

（16）監事は会計および選挙等を監査する。監事の任期は４年とし、連続の再任は認めない。任期中監事を辞退するものが生じた際には、所定の手続きを経て速やかに後任を補充するものとし、その際の任期は前任者の残留期間とする。

（17）運営委員会の構成員は、運営委員、監事、補体シンポジウム集会長（当期および次期)、会長、および会長補佐とする。

（18）運営委員会は、構成員の過半数の出席を要する。

（19）運営委員会は、会務の審議、本会の運営に当たる。

（20）補体シンポジウムの集会長は、運営委員会が選出決定する。

（21）補体シンポジウム集会長は、補体シンポジウムを主宰する。

（22）補体シンポジウム集会長の任期は、前期補体シンポジウム開催時に始まり、主宰補体シンポジウム終了時に終る。

IV　学術集会・総会

（23）年次集会（補体シンポジウム）を行う。時宜に応じて必要な集会を開催することが出来る。

（24）運営委員会は、補体シンポジウム開催中または必要に応じて会長がこれを召集する。

（25）総会は年１回、補体シンポジウム開催中に当期集会長が召集し、運営委員会決定事項の報告と必要な討議を行い、承認を求める。

V　会計

（26）経理会計は事務局において行うほか、必要に応じてシンポジウム集会長もこれにたずさわる。

（27）本会の経費は、会費・寄付金・その他の収入および利子をもってこれにあてる。

（28）補体シンポジウムにおいては、出席会員から参加費を徴収することが出来る。

（29）本会の会計年度は１月１日に始まり、１２月３１日に終わり、総会において会計報告を行う。

（30）監事は会計の監査を行い、その結果を総会において報告する。

VI　会則変更

（31）本会の会則を変更する場合は、総会出席会員の３分の２以上の賛成を必要とする。

付則

この会則は昭和６０年３月１日より施行する。

平成２年８月７日　　一部改訂

平成４年７月２３日　一部改訂

平成５年７月２１日　一部改訂

平成１６年８月２１日　一部改訂

細　則

I　会費

（1）本会の年会費は当分の間年額５,０００円とする。但し学生会員（学部学生および大学院生）は３,０００円とする。学生会員は、学生証の写し等を毎年事務局へ提出し、確認を受けるものとする。賛助会員の会費は年間１口３０,０００円とする。

II　選挙規定

運営委員の選出は当分の間次の規定に従って行う。

(2) 運営委員の定数は６名を原則とする。

(3) 選挙事務は事務局において行う。

(4) 運営委員の選挙にあたり、運営委員候補者名簿を作成する。

(5) 運営委員候補者として、任期満了の運営委員は３名、運営委員経験者は１名を推薦することが出来る。

(6) 事務局は、運営委員候補者名簿および投票用紙を、会員に総会開催２ヶ月前までに郵送し、会員はそれにもとづき、所定の日時までに３名連記で投票を行う。ただし、候補者以外のものに投票しても差し支えない。

(7) 開票には、少なくとも監事１名の立会いを必要とする。監事は、開票結果にもとづいて、得票数の上位３名の運営委員と次点１名を定め、運営委員会および総会に報告する。

(8) 次点者は運営委員に欠損が生じた場合に、その任に当たる。

III　事務局

(9) 本会の事務局は会長の指名する事務局長のもとに置く。

IV　名誉会員

（10）名誉会員の候補者の推薦は、運営委員２名以上の推薦によって成立する。名誉会員候補者は運営委員会において選考され、総会の承認を得て名誉会員に決定される。

付則

細則（1）は昭和６２年度より、賛助会員については平成５年度より施行する。

平成２年８月７日　　一部改訂

平成４年７月２３日　一部改訂

平成５年７月２１日　一部改訂

Memo

謝　辞

第 46 回補体シンポジウムは、九州大学大学院農学研究院および九州大学大学院生物資源科学府の後援の下に開催されます。また、株式会社ジーンネット様よりご協賛いただきました。ご支援に対し、心から御礼申し上げます。

第 46 回補体シンポジウム
集会長　中尾実樹

補体研究会賛助会員
（五十音順）

アレクシオン　ファーマ株式会社
株式会社アミノアップ化学
株式会社蛋白科学研究所
CSL ベーリング株式会社
明治製菓株式会社

補体研究会

会長	木下タロウ
会長補佐	野中　　勝
運営委員	藤田　禎三
	松下　　操
	岡田　則子
	瀬谷　　司
	山本　哲郎
	阿部　正義
	井上　徳光
	大井　洋之
	中尾　実樹
	南学　正臣
監事	松本美佐子
	岡田　秀親
事務局長	井上　徳光
集会長	中尾　実樹
次期集会長	藤田　禎三